

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

1 前年度 評価結果の概要	○学校教育目標である「感謝・絆・全力～小中一貫教育と各種交流活動によって主体的に学ぶ児童生徒の育成～」に向けて、教職員は啓発や働きかけを行ったり、児童生徒は学校行事や地域行事に進んで取り組んだりする姿が見られた。 ○学力向上や地域連携に向けて、北山校授業モデルづくりの研修を進めタブレットの活用や個別化への対応を行ったり、学校行事と地域行事を計画的に組み込み北山校の魅力を発信したりしてきた。 ○心の教育について、教職員による生活実態調査、児童生徒会によるいじめ、いのちを考える取組等、細やかな対応や指導、年間を通じての自主的な活動によって、児童生徒の安心感や満足感が高い。教育相談週間等の充実で、相談体制をさらに強化していきたいと考える。 ○健康・体づくりについて、あいさつ運動、早寝・早起き・朝ごはんの習慣、保健便りによる啓発等、継続的に児童生徒に働きかけを行っていた。保護者へのお知らせを積極的に行うなどして啓発活動に努めていくことが課題である。 ○地域に開かれた学校について、育友会活動を中心に児童生徒や保護者の出席率は、ほぼ100%と非常に高い水準である。今後は、児童生徒会が中心となって、地域の行事、町おこしの活動などへの参加体制を整えて、家庭や地域との一体感を図っていきたい。
------------------	---

2 学校教育目標	○感謝・絆・全力～小中一貫教育と各種交流活動によって主体的に学ぶ児童生徒の育成～
----------	--

3 本年度の重点目標	(1)感謝…ゆたかな心、尊重、合意形成する力、感謝の心「自己肯定感」「道德教育」「人権・同和教育」「ボランティア活動」等の推進、向上、育成 (2)絆…絆づくり、創造、共働する力、新しい価値を生み出す力「自己肯定感」「人間関係構築力・調整力」「遠隔地交流、直接交流」等の充実、推進 (3)全力…学力向上、自律、自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す力「北山校授業モデル」「基礎・基本」「指導方法、体制」「9年間を見通した指導」等の充実、習得、定着
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目									
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	○全国、県学習状況調査に向けた学力向上対策の充実、学習内容の定着に向けた分かりやすい授業実践	○保護者アンケートの「学校は、読書指導、外国語教育、教科担任制、ICT利活用等によって、学力向上に向けて熱心に取り組んでいる。」という項目で、肯定的な回答の割合が85%以上になるようにする。	・校内研究を通して、児童生徒の主体性を伸ばす指導方法の研究を積み重ねたり、学習環境を整えたりする。そして、保護者や地域に学校の取り組みや客観的な成果を積極的に公表したり発信したりする。		・		・		・
	○気づき、考え、表現する児童生徒の育成に向けた授業づくり	○教職員アンケートの「主体的、対話的な学びを意識したり、問題解決的学習を取り入れたりして、…」という項目で、肯定的な回答の割合が90%以上になるようにする。	・代表授業による授業研究会や全職員による小中合同の授業見学、講師招聘による校内研修等、主体的・対話的な活動を取り入れた授業実践、理論研究によって、個々の教師指導力の向上を図る。						
●心の教育	●児童生徒が自己肯定感を高めたり、合意形成の力を身に付けたりと、豊かな心を身に付ける教育活動の展開	○保護者アンケートの「学校は、道德授業、人権集会等、自分の命を大切にしたり相手に思いやりの心をもったりする教育を十分にやっている。」という項目で肯定的にとらえた割合を85%以上とする。	・道德の授業公開により学校の取り組みを伝えたり、家庭や地域との連携を通して相互理解を図ったりして、学校と地域が一体となって継続的に児童生徒の成長を見守る。		・		・		・
	●いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○教職員アンケートの「体罰禁止の徹底、いじめの未然防止、早期発見、早期対応、再発防止に向けて、…」という項目で肯定的にとらえた割合を90%以上とする。	・いじめいのちを考える日として、人権に係る児童生徒集会を行って啓発を図る。また、生活実態調査から、児童生徒の心情に寄り添った指導や細やかな観察により、いじめの未然防止、早期発見、早期対応を行う。		・		・		・
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●◎児童生徒アンケートの「大きくなってやりたいこと、夢や希望をもってがんばっていることがある。」という項目で肯定的に回答した割合を85%以上とする。	・児童生徒が、学校行事、体験活動等に見通しをもって取り組む単元を仕組み、自らの生き方、考え方を見据えキャリアパスポートに記して学びを振り返ることを促す。		・		・		・
	○基本的な生活習慣の確立に向けた児童生徒の育成	○保護者アンケートの「学習時間、デジタル機器、地域や社会の決まり、地域行事への参加」等の項目で肯定的にとらえた割合を85%以上とする。	・生活習慣について、全校に話や指導をしたり、個別に振り返りの場を設けたりして、学校や学級で児童生徒の生活を適切に評価する。また、一連の取り組みを保護者や地域に積極的に公表したり発信したりする。		・		・		・
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成の検討及び実践	○保護者アンケートの「子供の早寝、早起き、朝ごはん、うがい、手洗い、挨拶」の項目で肯定的に回答した割合を85%以上とする。	・毎日の健康観察の充実、遅刻や欠席の児童生徒への家庭連絡、保健だよりによる感染症等予防の啓発、給食の残食率調査による指導等、細やかな指導を継続して行う。		・		・		・
	○自らの健康的な体づくりの充実を目指す児童生徒の育成	○児童生徒アンケートの「外遊びや部活動に取り組んだり、給食を残さず食べたりと健康に気を付けている。」の項目で肯定的に回答した児童生徒の割合を85%以上とする。	・体育や保健体育の準備運動で体づくり運動の内容を取り入れ、体を動かす楽しさや心地よさを伝え、体力の向上に努める。また、外遊びや日常的な運動を奨励すると共に、中学部の部活動の時間を充実させる。		・		・		・
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限、月45時間、年360時間を遵守した教職員の割合を90%以上とする。また、職員1人あたりの年次休暇の習得日数14日以上を目指す。	・進行事の定例化、会議時間の設定等、見通しをもった校務の運営や処理を実施したり、教育反省、校務可視化により、業務精選や均等化に努めたりしていく。		・		・		・
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に係る児童理解と支援体制の構築	○教職員アンケートの「児童生徒理解、支援体制の構築、児童生徒に対応する研修会への参加」の項目で肯定的な回答をした割合を90%以上とする。	・特別支援教育に係る研修会を定期的に実施したり、子ども支援会議等で情報共有を図ったりして、個に応じて児童生徒の指導にあたる。		・		・		・

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目									
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
○地域に開かれた学校	○地域連携活動、育友会活動を通して、ふるさと北山を誇りに持つ児童生徒の育成	○保護者アンケートの「学校は、地域と連動する活動を通して、ふるさと北山への誇りをもつように計画的、継続的に指導を行っている。」の項目で肯定的に回答した割合を85%以上とする。	・北山校育友会の企画である「サマーキャンプ」「冬の北山まつり」等の開催に向けて、保護者や地域の方と共に教職員、児童生徒も当事者として、実際に運営や役割を担う。		・		・		・
○小中一貫教育	○小中連携による9年間を見通した教育課程の編成、指導体制の充実	○保護者、教職員アンケートの「様々な学校行事や児童生徒の活動を通して、9年間を見通した教育実践を積極的に行っている。」の項目で肯定的に回答した保護者、教職員の割合を85%以上とする。	・体育大会等の学校行事や地域交流等の活動の中で、各々の児童生徒が役割を担ったり地域と繋がったりしていく場を計画的に位置付ける。また、小中の授業や活動の乗り入れや相互交流で円滑な移行を図る。		・		・		・

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------